

平成25年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 和歌浦小学校
作成日	平成26年3月1日

1 教育目標

健康なからだ、たしかな考えと、豊かな心をもち意欲的に活動する子どもを育てる。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	学校だよりの地域回覧で学校の事が良くわかる。それが嬉しい。学校長を先頭に教職員が一丸となり、子どもたちの為に頑張っているのが良くわかり、喜んでいいる。だから、PTAも地域の各種団体も学校に協力体制が出来ている。	学校が今年も読書活動に力を入れているのが良くわかり嬉しく思った。図書室だけでなく、学年文庫、学級文庫などがあり、身近に本があることの大切さを感じた。又、朝の校門での学校長の朝の挨拶運動も、素晴らしいと思った。	どの学級も先生と子どもが一体となり学習しているように感じた。そして、子どもがとても大切に扱われているように感じた。きっとそれぞれの学級経営がうまくいっているのでしょう。特別支援学級1と2も楽しく学習できていた。
取組の状況に対する意見	学校だよりで学校のことがよく知られ、理解を得ている。今後も学校から様々な子どものことを発信して欲しい。PTAも地域も学校に協力を惜しまない。今できているこの三者の信頼関係を今後とも大切にしていきたい。	学びの時間などを活用して、どしどし読書をして欲しい。又、挨拶を大切にしていることも素晴らしい。人との関わり合いは、先ず挨拶からだと思えるので。校長先生の朝の校門挨拶も、大変ですが是非続けて欲しい。	学びの時間はそれぞれの学級が特色を発揮して上手に活用をしている。今の子どもは忙しいから読書活動を、全校一斉にこの学びの時間を活用したらより大きな成果が上がるのではと思った。校内の至る所で本を見たのは、嬉しかったし、取り組みに進んでいることを感じた。
取組の成果に対する意見	例年冬に行われる「こども祭り」は、今年も盛大に行われた。体育館で行われた徳川吉宗の紙芝居を全員で見た。PTA主催で、学校教職員、地域の諸団体が参加、協力して子ども達も大喜びで大変良かった。このような行事も大変だが、子ども中心に考えて、今後も続けて欲しいものだ。	数回の学校訪問であるが、学校がきれいになったような気がする。何時も朝の清掃を大事に、教師も子どもも一生懸命に取り組んでいるからだと思うが、校務員さんも、環境の整備に頑張っている。校務員さんの働く姿を子どもが目にするのも、一因ではなかろうか、...	学校長の話で、書くことにも力を入れていることを知る。和歌山放送の、作文の年間賞も貰ったと聞いた。話すことも大切だが、書くこともとても大切である。低学年から書くことになれていたら大きな力になると思う。是非書くことも、大切にして、継続して欲しい。
改善方法に向けての意見	地域の様々な団体が学校の役に立ちたいと考えている。だから子どもたちのためにその力を上手に使って欲しい。今年も昔の遊びについては老人クラブの寿会に声を掛けてくれて良かった。公民館も竹とんぼづくりやCDごまづくりを子どもたちとつくり遊べてみんな喜んでいた。	読書活動の定着化。そして挨拶運動の推進。これらは子どもの大きな力になると思う。挨拶運動も学校だけでなくPTAにも協力を要請し各家庭でもっと挨拶することを大事にしてもらって欲しいと考える。	昔はよく、読み、書き、そろばんと言われた。やはり、読書で読み取る力、作文で書く力、算数で考える力や計算力を付けることが大切に思う。今学校が力を入れていることは、大切なことばかりだ。是非、継続して欲しいと願う。

3 その他のご意見

学校長が、朝の挨拶などで多くの子どもたちに声かけしていること、加えて、教職員に話しかけていること。聞けば、若い先生方には、自分がこれまで得た物を伝えたいという。素晴らしいリーダーシップだと思う。大人も子どもも。話しかけ相手を理解し、自分もわかって貰う。是非その主義を継続して欲しい。学校中が和やかな雰囲気になったような、そして活動的になったような気がする。学校からいろいろなことを発信してくれたら、PTAも地域のいろいろな団体も協力を惜しまないと思うから、いろいろなことを発信してください。学校で子どもたちが災害を想定して避難訓練や避難生活の訓練などしたことを聞き、勇気づけられた。